



JR京葉線の強風対策を訴える河野としのり県議



訴えに国の鉄道局員も参加



国交省大臣室にて京葉線の強風対策及びダイヤの増発について馬淵国交省大臣に訴える河野としのり県議

「風吹けば京葉線がとまる」という異常な

鉄道交通の改善を及び京葉線のダイヤの増発を求め、馬淵国交省大臣に直接訴える!!

「風吹けば京葉線がとまる」という異常な鉄道交通の改善を求める意見書

JR京葉線は、内房線や外房線相互乗り入れをし、東京都心と沿線の千葉市、船橋市、浦安市などを結ぶ大動脈の役割を果たし、通勤・通学の足として、また東京ディズニーリゾートや幕張メッセ・千葉マリンスタジアムへのアクセス手段として重要な路線となっている。平成20年度の1日当たりの乗降客数は、千葉みなと駅1万5,000人、検見川浜駅1万6,000人、稲毛海岸駅2万3,000人、海浜幕張駅5万3,000人、新浦安駅5万5,000人、舞浜駅6万9,000人と年々増加し、葛西臨海公園から新木場の混雑率は平成19年度で198%に達し、首都圏の鉄道の混雑率の最上位のグループに属している。朝夕ラッシュ時には内房線・外房線・東金線との直通運転が行われ、また武蔵野線のほぼすべての列車が西船橋駅から東京駅、海浜幕張駅まで乗り入れ、私鉄を含めた各線との接続も多く重要な役割を担い首都圏の最重要路線となっている。

しかしながら、京葉線は海岸沿いの高架線を走るため、海風の影響を強く受け、強風などの荒天となると、低速走行になったり、運転中止となったりでダイヤは大きく乱れる。さらに、京葉線は周辺には他の鉄道路線による代替交通手段がなく、運転中止となると、遠く離れた総武線、東西線に通勤・通学の利用客が殺到時にはパニック状態と、また運休となった京葉線駅から他線に向かうバス停に長蛇の列がいつまでも続く状態となる。首都圏の房総半島と都心を結ぶ大動脈にもかかわらず「風吹けば京葉線がとまる」という異常状態が開通以来変わらず続き、膨大な数に及ぶ通勤・通学の利用客から強風対策を求める切実な訴えが続いている。

JR東日本は強風警報システム、防風柵の設置など行ったが、ダイヤの乱れは依然として続いている。

よって、政府において、こうして定常的に繰り返される異常な鉄道交通の姿を強く認識し、安全性はもちろん利便性を確保する公共交通としての責務を全うするよう強くJR東日本に指導するとともに防風対策を初め定時性を確保するための強風対策の推進を強く要望する。

平成 22年 6月 22日

内閣総理大臣 あて
国土交通大臣



河野としのり県議が作成提案した、「長周期地震動対策を求める意見書」が県議会で決議され、国へ要望された!!

長周期地震動対策を求める意見書

関東平野は、地下構造がすり鉢状でその中に堆積した軟弱な地盤つまり堆積盆地からなっている。この地下構造は2003年に発生した十勝沖地震で、石油タンクの大火災を起こした苫小牧と同じで、長周期地震動が伝わり揺れは増幅され強い揺れが滞留し地上の固有周期の長い構造物、つまり大型石油タンク、超高層ビル、長大橋等に甚大な被害をもたらす地盤となっている。

2009年に国の地震調査委員会が公表した東海地震の長周期地震動予測地図においても、千葉県を含む東京湾岸一帯の石油タンクのあるコンビナート地帯を含み関東平野ほぼ全部に長周期地震動の強い揺れが発生し、しかも揺れの継続時間も5分以上と予想されている。石油タンクのスロッシング被害はもとより、超高層ビルなどの建築物も固有周期が長周期地震動の周期と一致すれば、共振を起こし激しい揺れをもたらす。高層ビルの構造材の損傷、外壁や内装のひび割れ、ガラスの落下、各種配管の破損、天井の落下、エレベーターロープの損傷など十分に予想される。

しかしながら、中央防災会議の公表した近い将来予想される東海及び東南海巨大地震の被害想定には長周期地震動の被害は考慮されておらず、これらの巨大地震では必ず強い長周期地震動が起きると予測されているが無視されている。さらに、建築設計においては、2000年の改正の建築基準法において、超高層ビルに一定の範囲で長周期地震動を設計に反映させる告示が定められたものの、その設計入力に使用される代表的な観測強震動には2003年の苫小牧波のような5秒以上の長周期において強い揺れを持つ実際の波は、建築の安全設計の基準として用いられていない。国においては長周期地震動対策の取り組みは建築、防災において不十分と言える。

よって、政府において、長周期地震動対策の必要性をしっかりと認知し、建築においては建築基準法等の法令の整備を早急に行い、中央防災会議においては東海、東南海、南海大地震に対して長周期地震動を加えた被害想定を公表するよう強く要望する。

平成 22年 9月

千葉県議会議員

内閣総理大臣
総務大臣 あて
国土交通大臣



河野としのりプロフィール

- 昭和48年 早稲田大学理工学部卒
- 50年 早稲田大学大学院修士課程修了
- 同年 東洋エンジニアリング株式会社入社
- 平成7年 千葉県議会議員初当選
- 16年 千葉県監査委員
- 17年 防災対策委員
- 19年 千葉県議会議員4期当選
- 平成20年 政党の県連幹事長就任
- 現在 県議会 政調会長・総務常任委員